

とき:11月22日(日)10:00~11:45 会場:神林農村環境改善センター 参加人数:32人

開催地区名	NO	発言内容	答弁内容
神林	1	<p>・地域おこし協力隊の導入要望について。当集落は山間部に位置する集落であり、過疎化が進む中、集落の元気づくりのため、ホテルの里づくりやクリスマスツリーの飾りつけなどに取り組んでいる。しかし、マンネリ化などから思うように進んでいない現状もあるため、協力隊員のノウハウなど人材を活用して、集落のみならず神林地区全体の元気づくりにつながっていけばと思っている。ぜひ市でも支援をお願いしたい。</p>	<p>・基本的に隊員は増やしていきたいという考えである。様々な分野で地元の方々と連携し、地元の弱ってきた部分を補いながら、元気にしてもらいたいというイメージ。一方、協力隊と受け入れる我々のニーズが一致しているかどうかが重要で、気を配らなければならない点である。受け入れる側が、まちづくりの専門家という点を望みすぎるとうまくいかないケースがある。一緒に地域の活性化を進めるという意識が大事だと思う。それとともに受け入れ先のサポートがあって、良好なコミュニケーションが図れるし、信頼関係も生まれると思っている。地元へ根付いていくような仕組みを考えていきたい。協力隊の制度については、十分活用していきたい。ぜひ地元の協力もお願いしたい。</p>
神林	2	<p>・今年市内に看護専門学校が開校し、40名以上が在学している。全国的に看護師のニーズは高く、この卒業生はぜひ村上市に定着してもらいたいと思っている。そのための政策を市として考えてもらいたい。併せて高額な学費の支援制度も必要だ。人口増にもつながる取り組みなので、ぜひ検討願う。</p> <p>・介護予防の充実、特に高齢者の運動支援を要望する。地域で取り組めるような仕組み作りに取り組んでいただきたい。リハビリ大学の学生を活用して、指導者を養成するなど対策を進めてもらいたい。</p> <p>・結婚対策について。市内でも婚活イベントが行われているが、単発的なものにとどまっている。結婚希望者の登録制度などを市で運営し、地道に支援を進めていってほしい。</p>	<p>・看護師不足は県内の病院、介護施設等で顕著である。県の支援事業もあるので、連携しながら対策をとっていきたい。市内の施設のニーズを把握して、仕組みづくりと対策を進めたい。</p> <p>・今年度リハビリ大学と連携協定を締結した。地域にとって有効となるような具体的な政策を考えていきたい。大学ではすでに地域の介護予防への参画も進めている。</p> <p>・市、市職員が直接コンサルティングをすることは、現実的に無理だろう。民間業者と連携して対策をとっていくことは十分にありえる。現在市では、婚活イベント開催の支援制度を設けており、民間の業者、団体に活用していただいている。今後検証を重ね、さらに対策を進めていきたい。</p>
神林	3	<p>・戦争のない平和な世の中にするため、若い世代、特に小中学生を中心に平和教育を進めてもらいたい。</p> <p>・神林地区平和祈念碑保存会では、毎年平和祈願祭を開催しているが、この祈願祭を市主催で行ってほしい。</p>	<p>・平和な社会を次世代に伝えていくことの大切さは、十分認識している。教育分野において、しっかりと取り組んでいきたい。</p> <p>・保存会の活動については、敬意を表すところである。平和は誰もが望むもの。祈願祭などの活動は、合併以前から各地区や各団体が主催されていることと思うので、これらを踏まえ今後検討していきたい。</p>
神林	4	<p>・平林地域まちづくり協議会では、各集落で課題の洗い出し、解決のための話し合いを行っている。我が集落でも話し合いが行われ、急速な高齢化が危惧されている。その中で、集落の中はみんな親戚のような考え方で、お互いに協力し合う関係づくりが大切だと感じている。この点について、ぜひ市からもそのような意識づくりを呼びかけていってほしい。また、高齢化により、人足手間の労力不足が懸念される。ぜひ市で対策をお願いしたい。</p>	<p>・高齢化社会への移行は必然であり、恐れず対応していきたい。確かにこれまでと人口動態が激変して大変になることもあるが、悲観的になりすぎずクリアする方法を考えていく。元気な高齢者は多くなっている。元気な方が誰かを支える仕組み、行政支援に加えて各種団体、NPOなどによる支援や集落単体ではなく周辺集落との協力体制の構築など、まさに協力し合う関係づくりだと思っている。</p> <p>健康寿命をのばすことも大切で、神林地区では希楽々が活躍しているので、ぜひ介護予防事業などに活用してもらいたい。それによって、クラブ、集落とも発展できる相乗効果が生まれると思う。</p> <p>ふるさとを大切に思う気持ちや、情勢の変化を見極めながら素晴らしいふるさとを次世代に伝えていく仕組みづくりをともに考えていきたい。</p>
神林	5	<p>・定住できるまちづくり、少子高齢化に対応した行政運営については、非常に共感の持てるところである。村上市は恵まれた自然環境を有しているが、それに加え、子育て環境、高齢者介護の環境、雇用の場などそれぞれの充実が重要だと思う。これらの対策の中で、市の政策でこれは必ずやる、というような項目があったら教えていただきたい。</p>	<p>・若い世代が就職するときに地元に戻ってこれない大きな1つの要因として、働く場所がないからということがよく言われている。本当はないのかと検証すると、求人はそれなりにあるが、若者が選択してくれないということがある。これらの部分も検証しながら対策をとっていく。</p> <p>働いて、結婚を経て、出産、子育てと進んでいく時点で、子育て環境の充実が求められるだろう。保育料の軽減や医療費助成を行っていく。</p> <p>若い世代に帰ってきてもらうためには、今ここに住んでいる人たちがここに住み続けたいと思えるまちにすること。今住んでいる人が元気になってもらうこと。行政運営において、これだけは必ずというより、すべてが大切である。より多くの手を打っていくことで、相乗効果も期待されるものである。</p>

開催地区名	NO	発言内容	答弁内容
神林	6	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の教育環境整備について。神林地区では合併前の検討委員会で、学校統合を検討すべきとの答申を出したが、合併後はこの点がなおざりとなり、遅れを取っていることは明らかであるため、早急な対応を望む。子どもの数は急速に減っており、子どものために検討、対策をとってもらいたい。 ・庁舎への国旗掲揚について。合併前は役場庁舎に毎日国旗を掲揚していたが、合併後は掲揚されていない。住民の意識高揚、職員の士気高揚のためにもぜひ掲揚してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育環境整備については、同じ思いである。今の子どもたちのためにもスピード感をもって、一刻も早く進めていかなければならないと思っている。学校統合となると、学校のある地元から反対意見があがることが想定されるが、それは大人の都合の部分であり、今の子どもたちのための学校であることが大切。以前のいいイメージにしばられて、本質を見失わないように進めたい。 ・国民として国、国旗に対し敬意を表することは大切であると考え。本庁、支所へも伝えていきたいし、掲揚する方向で進めたい。
神林	7	<ul style="list-style-type: none"> ・先日集落で課題の洗い出し等、話し合いを行った。その中で、中学生の登下校の問題があがり、部活などで帰りが遅くなった場合、暗くなり危険だという話があった。冬季だけでなく、通年でスクールバスを運行してもらえよう要望する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりと対応していきたいと考えている。ただピンポイントで運行できるスクールバスは便利だが、財政面を十分考慮する必要がある。有効的なのは、公共交通を十分活用できるような仕組みを考えていくこと。ここにスクールバスで補えると、手厚い策となる。皆さんと一緒に考えていけるような体制をとっていきたい。スポーツ推進の点で、部活動の支援策も考えていきたい。
神林	8	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物弱者への支援について。塩谷でも団体が自主的に行っている事例がある。交通面の充実による支援策だけでなく、買い物弱者へ支援を実際に行っている団体への市からの支援策、バックアップ体制の充実を望む。 ・観光について。塩谷でも毎年町屋散策のイベントをやっているが、来場者はリピーターがほとんどで、新たな客が少なく感じている。市全体の観光資源のPR方法をさらに検討、充実してもらいたい。まだまだ埋もれている資源はたくさんあると思う。 ・岩船沖洋上風力発電について。市としての将来ビジョンについて教えていただきたい。 ・各地域でそれぞれの可能性、課題もあると思うが、第2次総合計画では市全体としてつながりのある考え方で計画を策定してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物支援を行っている団体の活動、活躍ぶりも知っている。支援策については検討するが、すでに自主的に活動している団体については、自らの発案でやっており、どんどん伸びていってもらいたいと思っている。行政の支援、お金の入れ方、特に補助金は制約も多いので、慎重に行う必要がある。このような団体に公共交通の充実や買い物に便利な仕組みを絡めて、推進していきたい。 ・観光について。リピーターの方々はありがたいと思っている。村上の町屋めぐりも、最初は地元の方がほとんどだったが、続けていくことで市外の観光客も入り、リピーターが増え、町の環境整備も進んでいる。市や観光協会のホームページなどで発信して、観光のPRを行っていく。併せてまちづくり協議会のホームページも活用してほしい。 ・岩船沖洋上風力発電について。多額の事業費により事業が進むことや完成後のメンテナンス基地設置など、経済効果は大きいと期待している。それらを見据え、地元の方々、漁協、観光協会等の団体と手を携えながら、市の魅力アップを図っていきたい。 ・つながりのある考え方で計画策定を進めたい。
神林	9	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源について、旧街道沿いのお幕場は、歴史的にも貴重な観光資源である。ぜひ観光資源としての整備を検討してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内には数多くの観光資源が存在しており、これらはそこに住んでいる方々の誇りにつながっている。すべての観光資源は宝物という考え方でまちづくりを進めたい。